

令和5年度第1回 公立沖縄北部医療センター整備協議会  
幹事会における主な協議内容

1 幹事会の概要

日時：令和5年7月14日（金）午後2時～4時

場所：沖縄県北部合同庁舎 2会大会議室

内容：報告事項5件・意見交換

2 協議内容

(1) 基本設計業務の報告について

資料1に沿って事務局より説明。主な意見等は次のとおり

ア 公立沖縄北部医療センター整備基本計画と基本設計の主要な変更点はどのような部分か

⇒ 主な点として階高の変更（8階建てから6階建てに変更）、手術室の変更等がある。

イ 透析患者病床・感染者病床の考え方及び拡張性について

⇒ 透析については、北部地区医師会病院が有する70床を確保しており、医療従事者の確保や運用次第では、拡張することも可能である。

⇒ 感染症病床については、設計上、5階で最大42床まで拡張することが可能であり、6階病床の対応も検討できる。

ウ 屋上ヘリポート、地上ヘリポートの機能の違いは

⇒ 現在運用しているドクターヘリ等による患者搬送は、屋上ヘリポートを利用する。地上ヘリポートは、大規模災害時等において多数の患者を輸送するための大型機を想定している。

(2) 整備費と収支見通しについて

資料2に沿って事務局より説明。主な意見等は次のとおり

ア 病院事業債に対する支援について、特別分の3分の2とすることの見通しはどうか

⇒ 総務省との協議結果により左右されるが、病院機能の再編に伴う整備であり、特別分として認められる可能性は十分にあると考えている。

イ 新たな国庫補助金とはどのようなものか

確定的な国庫補助金は、開院後の安定的な経営に必要であり、新規事業の獲得を是非検討して欲しい

⇒ 琉球大学病院地域医療教育センター（仮称）の建設・運営に関する支援を考えており、事務レベルでの意見交換を行っているところである。引き続き丁寧に説明していきたい。

ウ 収支見通しにおける給与水準は、開業時に県からの派遣職員がいる可能性も想定されているのか

⇒ 給与水準については、基本合意書に基づき、北部地区医師会病院の給与水準で機械的に算定している。

エ 医療器機は、全て新規購入を予定しているのか

⇒ 基本設計段階で、個々の器機について、継続使用・新規購入などの仕分けを行っており、全て新規購入としているものではない。

オ 国への要請は、実施設計により概算費用が分かってから要請するのか。現時点の考え方でよいので教えて欲しい

⇒ 要請の時期等については、市町村の意見も伺いながら検討してまいりたい。

### (3) 実施設計業務の進捗について

資料3に沿って事務局より説明。主な意見等は次のとおり

ア 段階が進むにつれ、もともとの基本計画の考え方が薄くなっていく場合もあることから、基本計画を基本とするよう明記する必要があるのでは

⇒ 整備基本計画を踏まえた基本設計を遵守することとしてテーマを求めているところであり、考え方を踏まえながら進めていきたい。

イ 実施設計段階で独自提案を求めると、往々にして費用が増額傾向となりがち。現在の整備費用は遵守するようにテーマ設定を行っていただきたい

⇒ 整備費用はコントロールしながら進めていく。物価高騰が続く環境にあり難しい面もあるが、工夫しながら費用の低減と財源確保に取り組みたい。

ウ 開発設計は、地元の事業者も参加できるように想定しているのか

⇒ 開発設計の一般競争入札要件については、県内事業者による入札参加とする予定である。

(4) 第1回財団法人部会について

資料4に沿って事務局より説明。意見等は特になし

(5) 医療従事者の確保に向けた転籍意向調査について

資料3に沿って事務局より説明。主な意見等は次のとおり

ア 令和4年度の転籍意向調査については、調査結果がわかりにくい。県立病院、北部地区医師会病院は分けて表現する等、工夫した方がよいのではないか。職種なども分けた方がよい

⇒ 今後の調査において検討してまいりたい

イ 医療従事者の労働環境等については、転籍で重視する要件、1位給与、2位休暇制度、3位勤務時間とあるが、医師について勤務時間の関心が高く感じる。勤務時間と専門性が発揮できる環境整備をうまく条件設定できると、地理的不利性は克服できる可能性があるので検討をお願いしたい。

⇒ 今後の調査において検討してまいりたい

以上